

製品安全データシート

労働安全衛生法の一部改正（平成12年4月1日施行）に伴い

弊社製品を安全にお取り扱い戴くことを目的に、この度、製品安全データシートを作成いたしました。

1 製品及び会社情報

ステンレス鋼及び耐熱鋼、ニッケル基金

当データシートは西日本ステンレス鋼線株式会社が製造、販売する下記の規格対象製品につき適用致します。

〔製品名〕 ◆ステンレス鋼線 ◆ニッケル基金
 〔会社情報〕 製造業者：西日本ステンレス鋼線株式会社
 所在地：山口県熊毛郡田布施町大字麻郷610番地
 電話番号：0820-52-3185（代表）
 FAX番号：0820-52-2557（代表）
 担当部門：技術管理部

2 組成、成分情報

単体/混合物区分 混合物(合金) 主な成分

成分	濃度[%]	CAS番号	ICSC番号	区分
ケイ素 [Si]	5以下	7440-21-3	—	—
マンガン [Mn]	12以下	7439-96-5	0174	1
ニッケル [Ni]	37以下※	7440-02-0	0062	1
クロム [Cr]	32以下	7440-47-3	0029	1
モリブデン [Mo]	7以下	7439-98-7	—	1
銅 [Cu]	5以下	7440-50-8	0240	1
ニオブ [Nb]	2以下	7440-03-1	—	—
チタン [Ti]	3以下	7440-32-6	—	—
アルミニウム [Al]	5以下	7429-90-5	—	—
タングステン [W]	3以下	7440-33-7	—	1
コバルト [Co]	21以下	7440-48-4	0782	1
鉄 [Fe]	残部	7439-89-6	—	—

区分：—：対象外 1：労働安全衛生法対象物
 成分の濃度は上表の範囲において、規格の種類である
 上表の主要成分の他に、炭素[C]、リン[P]、硫黄[S]、窒素[N]、セレン[Se]、ジルコニウム[Zr]、バナジウム[V]、ホウ素[B]等の微量元素を含む
 ※ニッケル基金の場合99.9以下

3 危険有害性

一般的な環境下では、現在のところ危険有害性に関する有用な情報なし。ただし、重量物のため、転倒、転がり、荷崩れ等に十分な注意を要する。また、鋼材の切断端面および切削屑等は皮膚を傷つける場合がある。さらに、溶接、溶断等にもなうヒュームや研削等による微粉は、呼吸器、目他の粘膜を刺激する場合があり、アークは火傷を起こす場合がある。コイル製品の場合には、結束フープ(バンド)の切断時に、コイル端部が跳ね上がる可能性があるため安全に留意を要する。

4 応急処置

必要な応急処置の後、必要に応じて医師の診断を受ける。下記は応急処置の例である。

- ◆ヒューム等により呼吸困難を起こした場合は、呼吸補助をし、速やかに医師の診断を受ける。
- ◆アーク等により火傷した場合は、患部を冷やし、必要に応じて医師の診断を受ける。
- ◆ヒューム、微粉等が目他の粘膜を刺激する場合は、水で洗い流し、速やかに医師の診断を受ける。
- ◆鋼材の切断端面および切削屑等で皮膚を傷つけた場合は、傷口の清潔を保ち、必要に応じて医師の手当を受ける。

5 火災時の措置

微粉は燃焼、爆発性を有する場合がある。

6 漏出時の措置

一般的な環境下では、固体で漏出しにくい。

7 取り扱い及び保管上の注意

不必要な水漏れ、酸との接触、高温多湿の環境を避ける。重量物の場合は、落下等に注意する。

8 暴露防止及び保護措置

一般的な使用環境下では、現在のところ暴露防止及び保護措置に関する有用な情報なし。

ただし、溶接、溶断、研削、切削等の作業の際は、ヒュームの吸引、粘膜への刺激やアーク、切削屑を防止するマスク、めがね、手袋、着衣等を使用する。

9 物理的及び化学的性質

〔物理的状态〕 一般的な環境下では、銀白色の固体。

〔物理的性質〕 融点：1455～1535℃ 密度：7.64～8.06kg/cm³

10 安定性及び反応性

一般的な環境下では安定しており、反応性は小さい。ただし、水や酸化性物質との接触により錆を生成する場合がある。このとき、酸欠、水素の発生をともなうことがある。

11 有害性情報

鋼材としては現在のところ人に対する有害性に関する有用な疫学的情報なし。

ただし、合金成分の一部には単体元素としては、例えば8.項のただし書きのような作業である濃度(例えば許容濃度)を超える場合には、有害性が指摘されている場合がある。

有害性情報は例えば許容濃度提案理由書(日本産業衛生学会)、ICSC(厚生労働省生活衛生局監修)から得られる。

12 環境影響情報

現在のところ環境影響に関する有用な疫学的情報なし。

ただし、合金成分の一部には単体元素としては環境影響が指摘されている場合がある。

環境影響情報は例えば許容濃度提案理由書(日本産業衛生学会)、ICSC(厚生労働省生活衛生局監修)等から得られる。

13 廃棄上の注意

基本的には法的に認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。付着物質等がある場合にはこの点にも留意する。

14 輸送上の注意

重量物である場合は、荷崩れのないようにする。雨水等の浸透を防ぐため、シート等の被覆をすることが望ましい。

15 適用法令

特になし。

〔記載内容の問い合わせ先〕 西日本ステンレス鋼線株式会社 営業部

電話番号：0820-52-3185(代) / FAX番号：0820-52-2557(代)

本データシートは日本工業規格Z7250:2000「化学物質安全データシート(MSDS) — 第一部：内容及び項目の順序(以下「JIS」という)」に準じて作成されており、用語の定義はJISに従っています。本データシートは、製品の安全な取り扱いを確保するための「参考情報」として、作成時点で弊社の有する情報を取扱事業者にご提供するものです。取扱事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実体に応じた適切な処置を講ずることが必要です。従って、本データシートは、製品の安全を保障するものではなく、本データシートに記載されていない弊社が知見を有さない危険性がある可能性があります。